

わが国の腎臓病患者における腎生検データベース構築ならびに腎臓病総合データベース構築に関する研究に関する臨床データの研究利用についてのお願い

研究の概要・背景

腎臓病が進行して透析療法を受けておられる患者様の数は年々増加しています。腎臓病を早期に診断し、適切な治療を行うことは大変重要です。腎生検による検査は腎臓病の診療において、病気の種類の確定や治療方針の決定、予後の判定のため 40 年近くも前から行われています。しかしながらわが国における腎生検の全国調査は過去に行われたことがないため、例えば同じ病気の方が全国に何人いらっしゃるか、正確な情報がわからないのが現状です。そこで日本腎臓学会では 2008 年より上記の研究をたちあげ、データベースを構築しており、当院もその目的に賛同し、研究に参加するものです。あなたの腎生検結果や、通常行われている血液、尿検査の結果を全国調査の一環としてお教えいただき、それによって腎臓病の種類や起こり方を調査していきます。将来的に同じ腎臓病の方へのよりよい治療の開発や病気の予防、管理の仕方の向上につながる可能性があります。

対象者・期間

2019 年 4 月 1 日～2028 年 12 月 31 日の間に当院で腎生検をうけた患者様を対象としています。

データ利用のお願いと申し出について

この研究は通常の診療で行う腎生検の病理組織診断の結果、尿検査や血液検査の結果を匿名化したかたちでコンピュータに登録していきます。患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院 内科

担当医師： 佐伯敬子

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)